

シンポジウム 文化財を災害から守る **3**

文化財の 記録と継承

～文化財を守り、伝えるために～

日時 平成29年 **10月28日** **土**

13:00～16:30 (受付は12:30から)

会場 けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK)
2階 ミュージアムホール

(JR 祝園駅・近鉄新祝園駅～KICK 無料シャトルバスあり)

※詳細は裏面をご参照ください

主催 京都国立博物館 後援 木津川市・精華町

**参加
無料**
(事前申込不要)

第1部 文化財を後世に伝える取り組み

基調講演 「文化財情報のデータベース化と防災、減災への活用」
二神 葉子 (東京文化財研究所)

報告 「京都国立博物館における文化財保護の取り組み
—文化財修理と科学機器—」
浅湫 毅 (京都国立博物館)



崩壊した熊本城の百間石垣 (画像提供: 熊本県立美術館)

第2部 文化財がものがたる震災と復興の記憶 —熊本地震に寄せて—

特別報告 「震災への対応と震災史展の企画
—熊本県立美術館の取り組み—」
山田 貴司・宮川 聖子 (熊本県立美術館)

第3部 文化財の記録と継承—文化財を守り、伝えるために—

座談会 二神 葉子・浅湫 毅・山田 貴司・宮川 聖子・宮川 禎一 (京都国立博物館)

シンポジウム 文化財を災害から守る 3

文化財の記録と継承

～文化財を守り、伝えるために～

日時 平成29年10月28日(土)
13:00～16:30 (受付は12:30から)会場 けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK)
2階 ミュージアムホール

昨今の自然災害とそこからの復興に向けた歩みのなかで、文化財を後世に伝えていくことの重要性が盛んに議論されています。なぜならば、災害によって多くの大切なものが失われたとき、のこされた文化財が地域復興の拠り所として大きな力を発揮することに私たちは気づいたからです。地域の歴史をものがたる文化財を守り伝えることは、過去や現在の記憶を未来へ伝えることにほかなりません。

本シンポジウムでは“文化財の記録と継承”をテーマに、文化財の防災・減災について考えます。まず第1部では、かけがえない文化財を後世に伝えるためのさまざまな取り組みをご紹介します。さらに第2部では、昨年4月に大規模な地震に見舞われた熊本県立美術館より学芸員をお招きし、震災後の対応と復興に向けた美術館の取り組みについてお話いただきます。文化財を未来へ継承するための取り組みについて、広くご理解いただく機会となれば幸いです。

会場までのアクセス

[会場] けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK)

[所在地] 京都府木津川市木津川台9丁目6番・相楽郡精華町精華台7丁目5番1



JR 祝園駅・近鉄新祝園駅発着シャトルバス乗降場所

乗降場所	JR 祝園駅・近鉄新祝園駅～KICK 無料シャトルバス運行 (申込不要)		
	【時刻表】		
	JR 祝園駅・近鉄新祝園駅→KICK 行		
	12:00	12:30	13:00
	KICK→JR 祝園駅・近鉄新祝園駅行		
	16:45	17:20	

公共交通機関をご利用の場合

■京都から

「京都駅」▶近鉄京都線「新祝園駅」▶奈良交通バス^{*1} (所要約50分)

■大阪から

「京橋駅」▶JR学研都市線「祝園駅」▶奈良交通バス^{*1} (所要約70分)「本町駅」▶中央線・近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」▶奈良交通バス^{*2} (所要約60分)「難波駅」▶近鉄奈良線「生駒駅」▶けいはんな線「学研都市登美ヶ丘駅」▶奈良交通バス^{*2} (所要約60分)^{*1}奈良交通バス36・37・56系統で「公園東通り」下車^{*2}奈良交通バス56系統で「公園東通り」下車